

Windows XP をお使いの方へ

C77178001

目次






1	WindowsXP をご使用の前に	3
	WindowsXP が使えるようになるまでの手順	3
	添付されているソフトウェア	4
	WindowsXP のセットアップ	5
	WindowsXP のセットアップ終了後の作業	7
	WindowsXP 使用時の確認事項	9
	WindowsXP の終了と電源の切り方	10
2	WindowsXP の使い方	13
	WindowsXP の使い方	14
	画面の解像度と表示色を変更する	15
	省電力機能を使う	16
	IEEE1394 コネクタ (IEEE1394 搭載モデル)	18
3	WindowsXP の再インストール	19
	インストールの準備	19
	インストールの順番	20
	インストール時の注意	21
	WindowsXP のインストール	22
	サウンドドライバのインストール	25
	DMA 転送の設定	26
	ディスプレイドライバのインストール	27
	マウスドライバのインストール	27
	Adobe Acrobat Reader と Virus Scan for Windows のインストール	27
	その他の設定	28
4	こんなときは / 付録	31
	こんなときは	31
	付録	31

本書の使い方

本書は、Microsoft®Windows®XP Home EditionまたはMicrosoft®Windows®XP Professionalをお使いになる場合の使用方法などを記載しています。

本機に添付の『ユーザーズマニュアル』は、Microsoft®Windows®98 Operating SystemまたはMicrosoft®Windows®2000 Professionalを使用することを前提に記述しています。そのためWindowsXPを使用する場合は読み替えが必要になります。

下記一覧は、『ユーザーズマニュアル』の読み替えが必要な箇所について記載しています。本機をご使用の際は該当箇所をご覧ください。

ユーザーズマニュアルの各章	読み替え	本書参照先
使い始めるまでの準備		 p.3「1.WindowsXPをご使用の前に」
コンピュータの基本操作		 p.13「2.WindowsXPの使い方」
システムの拡張	×	—
BIOSの設定	×	—
ソフトウェアの再インストール		 p.19「3.WindowsXPの再インストール」
こんなときは		 p.31「4.こんなときは/付録」
付録		 p.31「4.こんなときは/付録」

<表中の記号について>

- ×：読み替えは必要ありません。
- ：すべて本書と読み替えてください。
- ：一部の記述を本書と読み替えてください。

WindowsXPの記載について

本書では、Microsoft WindowsXP Home EditionおよびMicrosoft WindowsXP Professionalを「WindowsXP」と記載します。

WindowsXP Home EditionおよびWindowsXP Professionalの固有の情報である場合に限り、WindowsXP Home EditionまたはWindowsXP Professionalと記載します。

WindowsXPをご使用前に

本章では、購入してからWindowsXPを使用できるようになるまでの必要な作業について説明しています。

WindowsXPを使用できるようになるまでの手順

下記の手順に従って、WindowsXPを使えるように準備します。下記参照ページに従って作業を進めてください。

梱包品の確認  『梱包品の確認』





梱包品に不足や不良がないか確認します。


コンピュータをご使用前に確認する



本機をお使いになる前に、必要な情報を確認します。

 『ユーザーズマニュアル』-表紙裏面「安全にお使いいただくために」


 『ユーザーズマニュアル』-p.2～5「ご使用前に」

 本書 p.4「添付されているソフトウェア」

コンピュータを設置する




本機を安全な場所に設置します。


 『ユーザーズマニュアル』-p.10「コンピュータの設置」


コンピュータの電源を入れる




セットアップ作業で必要になるマウスの使い方を確認し、コンピュータの電源を入れます。

 『ユーザーズマニュアル』-p.18「電源を入れる前に」


 『ユーザーズマニュアル』-p.19「電源の入れ方とWindowsの起動」

WindowsXPのセットアップを行う  p.5




WindowsXPのセットアップ終了後に必要な作業を行う  p.7



WindowsXP使用時の確認事項をよく読む  p.9




















コンピュータの電源を切る  p.10

添付されているソフトウェア

本機に標準で添付されているソフトウェアは次のとおりです。購入時のシステム構成によっては、このほかにも添付されているソフトウェアがあります。

記号の見方

ソフトウェア添付形態	インストール状態
 : ディスクが添付されています。	 : 内蔵 HDD にインストールされています。
(B) : バックアップディスクの作成が必要です。  p.7 「バックアップディスクの作成」	 : インストールされていません。Windows のセッ トアップ後にインストールしてください。

Windows	 * 1 
Windows は、最新のものがインストールされています。	
ディスプレイドライバ	 * 2 
Windows を高解像度・多色で表示するためのドライバです。	
マウスドライバ	 * 3 
ホイール付きマウスを使用するためのドライバです。	
VirusScan for Windows	 * 4 
最新マクロウィルスに対応し、ウィルス駆除もできる高機能なウィルス 対策プログラムです。  『VirusScan for Windows をご使用の前に』	
Adobe Acrobat Reader	 * 4 
様々なアプリケーションソフトで作成した書類のデザインやレイアウト をそのまま再現する PDF ファイルの表示やプリントができるソフト ウェアです。	
ユーザーズマニュアル(PDF ファイル)	 * 5 
「ユーザーズマニュアル」が、コンピュータ画面上でいつでも見られる ように PDF 化されています。	(B)

上記以外のデバイスドライバ（ネットワークドライバやサウンドドライバなど）は WindowsXP 標準ドライバを使用します。WindowsXP 標準ドライバとは、WindowsXP をインストールすると自動的にインストールされるドライバのことです。

* 各ソフトウェアは次のディスクに登録されています。

*1 「リカバリ CD」

*2 「ビデオドライバディスク」(ビデオカードによって名称が異なります。)

*3 「マウスドライバ CD」

*4 「ユーティリティ CD」

*5 「マニュアルディスク」(バックアップ FD 作成時の名称)

WindowsXPのセットアップ

WindowsXP インストールモデルのセットアップは、次の手順で行います。

- 1 電源を入れてしばらくすると自動的に「WindowsXP セットアップ」が実行されます。セットアップ作業の流れは、次のとおりです。画面の指示に従って実行してください。

Microsoft Windows へようこそ

セットアップを続行するには、[次へ]をクリックします。

使用許諾契約

画面に表示された契約内容に同意するかしないかを設定します。

*「同意しません」を選択するとWindowsXP のセットアップが中止されます。

コンピュータ名

「このコンピュータの名前」を入力します。

コンピュータをネットワークに接続して使用する場合は、ネットワーク管理者の指示に従って入力してください。

パスワードの設定

WindowsXP Professionalをお使いの場合は、パスワードの設定を行います。

インターネットへの接続

ここでは接続を行いませんので [省略]をクリックします。

ユーザー登録

ここでは登録を行いませんので、「いいえ、今回はユーザー登録しません。」を選択します。

コンピュータを使用するユーザーの指定

このコンピュータを使用するユーザーの名前(最大5ユーザー)を入力します。少なくともユーザー名を1つ入力してください。

インストールの完了

WindowsXP が正常にインストールされました。[完了] をクリックするとコンピュータが自動的に再起動します。

- 2 WindowsXP が再起動すると、WindowsXPのデスクトップ画面が表示されます。これで「WindowsXP セットアップ」は終了です。



WindowsXPのセットアップ終了後の作業

WindowsXP のセットアップが終了したら、次の作業を行います。

バックアップディスクの作成



バックアップディスクを作成する前にHDDをフォーマットしてしまうと、バックアップディスクを作成することができません。


バックアップディスクを作成しないと、ドライバやソフトウェアを再インストールすることができません。必ず作成してください。

バックアップディスクの作成は、「バックアップFD 作成ユーティリティ」で行います。「バックアップFD作成ユーティリティ」では、購入時にHDD にインストールされていても、「ドライバCD」などの添付ディスクに登録されていない、次のようなソフトウェアのバックアップディスクを作成します。

- ・ ユーザーズマニュアルのPDF ファイル
- ・ 添付のディスク類に登録されているデバイスドライバの最新版
- ・ 添付のディスク類に登録されていないデバイスドライバ

購入時のシステム構成によって、作成するディスクが異なります。バックアップFD 作成ユーティリティ画面に表示されるすべてのディスクセットのバックアップディスクを作成してください。


バックアップディスクを作成するには、フォーマット済みのFD が必要です。

『ユーザーズマニュアル』-p.43「FDのフォーマット」

作成方法

次の方法で、バックアップディスクを作成します。

- 1 [スタート]-「すべてのプログラム」-「バックアップFD 作成ユーティリティ」を実行します。
- 2 「バックアップFD 作成ユーティリティ」が実行されると、「作成するディスクセットの選択」が表示されます。
- 3 画面に表示されているディスクセットの中から作成したいディスクセットをクリックして、[次へ]をクリックします。

- 4 画面の指示に従ってバックアップディスクを作成します。
- 5 同様にして「作成するディスクセットの選択」画面に表示されるすべてのディスクセットを作成します。
作成したディスクにはディスク名を明記したラベルを貼り、ライトプロテクトをして大切に保管しておいてください。
 『ユーザーズマニュアル』p.44「ライトプロテクト(書き込み禁止)」

ネットワークに接続する

ネットワーク機能を使用する場合は、ネットワークへの接続を行います。接続を行う際には、ネットワークに関する情報が必要です。ネットワーク管理者の指示に従ってください。

VirusScan for Windows のインストール

購入時には、「VirusScan for Windows」がインストールされていません。「VirusScan for Windows」をインストールします。



 『VirusScan for Windows をご使用の前に』

シャットダウンQFEのインストール

WindowsXPを正しく終了させるためのプログラムをインストールします。

- 1 「リカバリCD Disc2」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に次のとおり入力して[OK]をクリックします。


D:¥QFE¥Q307274_WXP_SP1_X86_JPN
(CD-ROMドライブがDドライブの場合)

「名前」に「D:¥」と入力すると、Dドライブに登録されているフォルダの一覧が表示されます。を押して¥QFEを選択してを押すと¥QFEフォルダに登録されているファイルの一覧が表示されます。
- 3 セットアップ画面が表示されたら[次へ]をクリックします。

- 4 「…セットアップウィザードを完了しています。」と表示されたら、[完了]をクリックします。

そのほかの設定

購入時にFAX モデムカードなどを装着している場合は、使用できるように設定を行います。

 各装置に添付のマニュアル

WindowsXP使用時の確認事項

「WindowsXPのセットアップ終了後の作業」が終わると、WindowsXP を使用できます。ご使用の前に次の事項の確認を行ってください。


WindowsXP の使用方法是、WindowsXP に添付の『ファーストステップガイド』や、「Windows のヘルプ」をご覧ください。

2 回目以降に電源を入れる

セットアップが終了したコンピュータに電源を入れるときには、次の点に注意してください。

電源が切れていることを電源ランプで確認してから電源を入れる。

省電力機能が働き、動作中でも画面の表示が消えていることがあります。電源を入れるつもりで切ってしまうように注意しましょう。

 p.17「省電力機能を使う」

電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を開けてから電源を入れる。


電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、HDD などの動作を安定させます。

周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を先に入れる。

コンピュータよりも先に電源を入れておかないと、コンピュータに認識されない機器があります。

省電力機能

本機では、一定時間マウスやキーボードの操作をしないと、省電力機能が働いて画面表示が消えます。この場合、マウス、キーボードの操作でもとに戻ります。

 p.17「省電力機能を使う」

デバイスドライバをインストールするときは

デバイスドライバをインストールしたり、周辺機器を接続したりするときに「WindowsXP CD-ROM」が要求されることがあります。このような場合は、添付の「リカバリCD Disc1」をセットしてください。

購入時のHDD領域の設定について

WindowsXPインストールモデルのHDD領域は購入時に次のように設定されています。

1台目のHDD	すべての領域：NTFS
2台目以降のHDD	すべての領域：NTFS

HDD領域を変更する場合は、WindowsXPの再インストールが必要です。変更方法はp.19「WindowsXPの再インストール」をご覧ください。

デスクトップクリーンアップ

セットアップを実行してから7日目以降にWindowsXPを起動すると、次のメッセージが表示される場合があります。

使用していないアイコンがデスクトップにあります。…

このメッセージはデスクトップ上に未使用のアイコンがあると表示されます。この場合はメッセージをクリックして「デスクトップクリーンアップウィザード」を起動します。画面のメッセージに従って実行すると、不要なアイコンを選択してデスクトップ上から削除することができます。

JAVA VMのインストール

インターネットサイトを閲覧する場合に、サイトによっては「JAVA VMをインストールしてください。」といったメッセージが表示されることがあります。このようなサイトを閲覧するためにはJAVAVMが必要です。次の手順を参照にインストールを行ってください。

- 1 「リカバリCD Disc2」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

- 3 「名前」に次のとおり入力して、[OK]をクリックします。

D:¥JAVAVM¥MSJAVX86
(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- 4 「Microsoft VMをインストールしますか」と表示されたら、[はい]をクリックします。
- 5 「次の使用許諾契約をお読みください。……」と表示されたら、内容を確認し[はい]をクリックします。
- 6 「インストールを完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。
- 7 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。…」と表示されたら、[はい]をクリックします。
Windowsが再起動するとJAVA VMのインストールは終了です。

JAVA VMの設定は、「Internet Explorer」を起動して「インターネットオプション」-「詳細設定」タブの「Microsoft VM」項目で確認できます。

WindowsXPの終了と電源の切り方



制限

電源を切ってから、もう一度入れ直す場合には、HDDなどの動作を安定させるために、20 秒程度の間隔を開けてください。

アクセスランプ点灯中に電源を切ると、登録されているデータが破壊されるおそれがあります。

本機は電源を切っていても、電源コンセントに接続されていると、コンピュータ内部には微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。


WindowsXPの電源の切り方

電源を切るときは、必ずWindowsXPを終了させてから電源を切ります。

- 1 [スタート]-「終了オプション」をクリックします。
- 2 「コンピュータの電源を切る」画面が表示されたら、[電源を切る]をクリックします。
WindowsXP が終了し、自動的に電源が切れます。
- 3 ディスプレイや接続している周辺機器の電源を切ります。

Windows終了時の注意

WindowsXPを複数のユーザーが使用している場合に、[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選択して電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています...」と表示されます。この場合は、画面を切り替えて、ログオンしているすべてのユーザーのログオフを行ってください。


 p.14「ユーザーアカウントの設定」

リセット方法

WindowsXPのリセット方法は次のとおりです。

[スタート]-[終了オプション]-[再起動]をクリックします。

リセットをどのような場合に行うか、またコンピュータがリセットできないときの対処法などは、『ユーザーズマニュアル』に記載しています。

 『ユーザーズマニュアル』p.33「リセット」

本章では、次の事項について説明しています。

WindowsXPの基本的な操作方法について

WindowsXPの新しい機能のうち、次の項目について説明しています。WindowsXPの詳しい使用方法は、「Windowsのヘルプ」や、『ファーストステップガイド』をご覧ください。

WindowsXPのスタートメニュー

ユーザーアカウントの設定

インタラクティブトレーニング

『ユーザーズマニュアル』の読み替え部分について

『ユーザーズマニュアル』-「コンピュータの基本操作」の読み替えが必要な次の項目について説明しています。それ以外の項目については、『ユーザーズマニュアル』-「コンピュータの基本操作」をご覧ください。

「画面の解像度と表示色を変更する」

「省電力機能を使う」-設定と実行方法

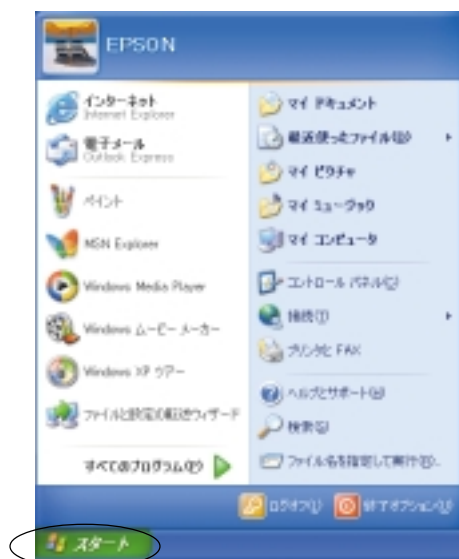
「IEEE1394コネクタ（IEEE1394搭載モデル）」

「IEEE1394コネクタ」-ビデオ編集をする(IEEE1394搭載モデル)

WindowsXPの使い方

WindowsXPの[スタート]メニュー

ソフトウェアやプログラムの実行は、主に[スタート]メニューから行います。



[スタート]をクリックすると「スタートメニュー」が表示されます。



「すべてのプログラム」をクリックすると、そのほかのプログラムが表示されます。

ユーザーアカウントの設定

ユーザーアカウント機能を使うと、1台のコンピュータを複数の利用者が別々のユーザー設定で使うことができます。

アカウントには、使用できる機能によって「コンピュータの管理者」と「制限」の2つの権限があります。利用者はどちらかの権限でコンピュータを利用できます。ユーザーアカウントの設定は、[スタート]-「コントロールパネル」-「ユーザーアカウント」から行います。

画面の切り替えは[スタート]-[ログオフ]-[ユーザーの切り替え]で行います。

詳しくは、[スタート]-「ヘルプとサポート」-「セキュリティと管理」をご覧ください。

Windows終了時の注意

WindowsXPを複数のユーザーが使用している場合に、[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選択して電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています...」と表示されます。この場合は、画面を切り替えて、ログオンしているすべてのユーザーのログオフを行ってください。

インタラクティブトレーニング

「ステップバイステップインタラクティブ」は、WindowsXPの使い方を画面上でわかりやすく説明します。

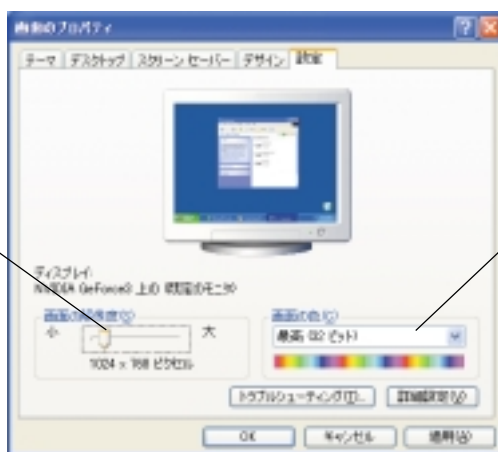
「ステップバイステップインタラクティブ」を実行するには、[スタート]-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「Microsoftインタラクティブトレーニング」-「Microsoftインタラクティブトレーニング」をクリックします。

画面の解像度と表示色を変更する

画面の解像度や表示色数の変更は、次の手順で行います。変更時には、「Windowsのヘルプ」もあわせてご覧ください。

- 1 [スタート]-「コントロールパネル」-「デスクトップの表示とテーマ」-「画面解像度を変更する」を選択します。
- 2 「画面の色」や、「画面の解像度」で設定を変更します。
- 3 [適用]をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

解像度を
設定します。



表示色を
設定します。

セーフモードでの起動方法

接続しているディスプレイと異なったディスプレイを選択した場合や、使用しているビデオカードでは表示できない解像度を選択した場合、Windows が再起動したときに「画面が乱れる」、「何も表示されない」などの現象が起こることがあります。この場合、セーフモードでコンピュータを起動して再設定を行ってください。セーフモードはWindowsXPを基本的なモードで起動するモードです。

WindowsXP をセーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を切り、20 秒程放置した後、電源を入れます。
- 2 電源を入れた直後に **F8** を押し、そのまましばらく離さずに押し続けます。押さない場合は通常モードでWindowsXPが起動します。
押しているときに、「ピピピ」というブザー音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 3 「WindowsXP拡張オプションメニュー」が表示されたら、「セーフモード」を選択し、**↵** を押します。
- 4 「オペレーティングシステムの選択」と表示されたら、**↵** を押します。
- 5 ユーザーを選択して、ログオンするとセーフモードでWindowsが起動します。

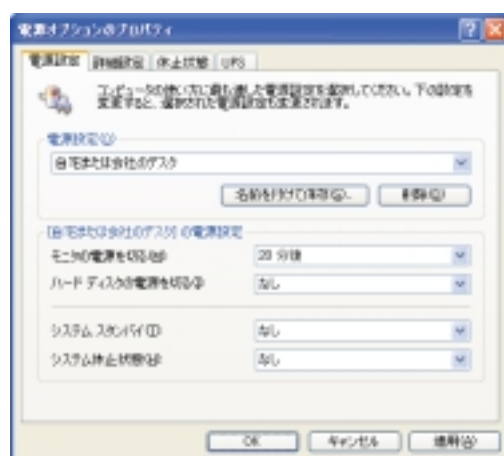
省電力機能を使う

WindowsXPでの省電力機能の設定方法、実行方法は次のとおりです。

省電力機能の概要は『ユーザーズマニュアル』p.54「省電力機能を使う」をご覧ください。

省電力の各種設定を行うには

〔スタート〕-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」の各タブで行います。



休止状態を有効にするには

WindowsXPでは、休止状態は有効に設定されています。設定は「休止状態」タブで確認できます。

省電力モードを実行するには

時間経過で実行する

省電力モードに移行する時間の設定は、「電源設定」タブで行います。

WindowsXPでの初期設定は次のとおりです。

モニタの電源を切る	:20分後
ハードディスクの電源を切る	:なし
システムスタンバイ	:なし
システム休止状態	:なし

直ちに実行する

・[スタート]ボタンから実行する

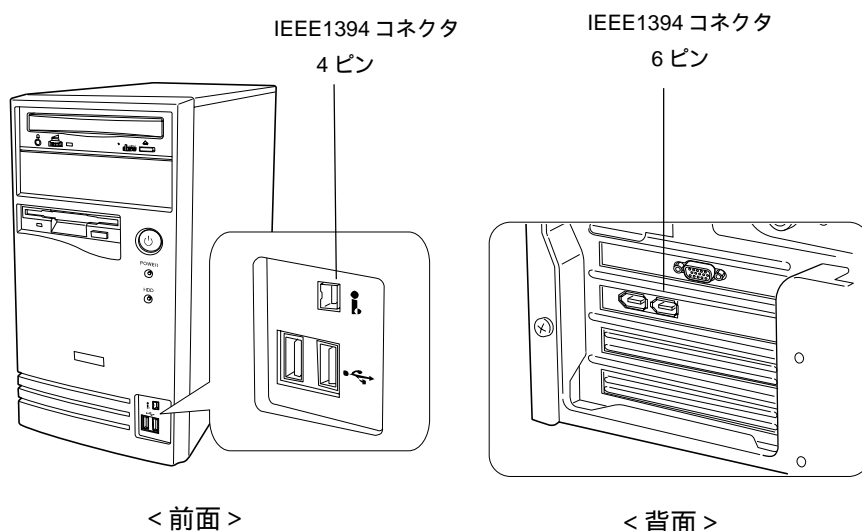
[スタート]-「終了オプション」[スタンバイ]を実行します。

・電源ボタンを押して実行する

電源ボタンを押したときにどのモードに入るかを、あらかじめ「詳細設定」タブで設定しておきます。

IEEE1394コネクタ (IEEE1394搭載モデル)

IEEE1394搭載モデルには、IEEE1394カードが搭載され、前面1個、背面2個の計3個のコネクタが使用できます。接続はコネクタの形状に合わせて行ってください。IEEE1394コネクタの抜き差しは、本機の電源が入った状態で行うことができます。接続する周辺機器によってはデバイスドライバが必要です。詳しくは、接続する周辺機器のマニュアルをご覧ください。



ビデオ編集をする

IEEE1394搭載モデルには、ビデオ編集のためのソフトウェア「DV Symphomovie」がインストールされています。デジタルビデオからの画像の取り込み、編集を行うことができます。デジタルビデオとの接続や、編集方法などDV Symphomovieの詳細な使用法は、『DV Symphomovieユーザーズマニュアル』をご覧ください。

本章はWindowsXP やデバイスドライバなどのインストール方法について説明しています。『ユーザーズマニュアル』-「ソフトウェアの再インストール」の章はすべて本章と読み替えてください。



制限

弊社製以外のBIOS にアップデートすると、WindowsXPを再インストールすることができなくなります。絶対に行わないでください。

インストールの準備

再インストールが必要な場合

Windows XPの再インストールは次のような場合に必要です。

何らかの原因でWindowsXP が起動しなくなった場合

HDD領域の構成を変更したい場合

必要なメディア

ソフトウェアをインストールするには、次のFDとCD-ROMが必要です。

リカバリCD(2枚)

Windows XP が登録されているCD-ROMです。

ビデオドライバディスク(ビデオカードによって名称が異なります。)

お使いのビデオカード専用のディスプレイドライバが登録されているディスクです。

マウスドライバCD


マウスドライバが登録されているCD-ROMです。

ユーティリティCD

VirusScan for Windows と Adobe Acrobat Reader が登録されているCD-ROM です。

バックアップFD 作成ユーティリティで作成したFD

Windows XPのセットアップ時に作成したFDです。作成していない場合は、Windows XPを再インストールする前に必ず作成してください。

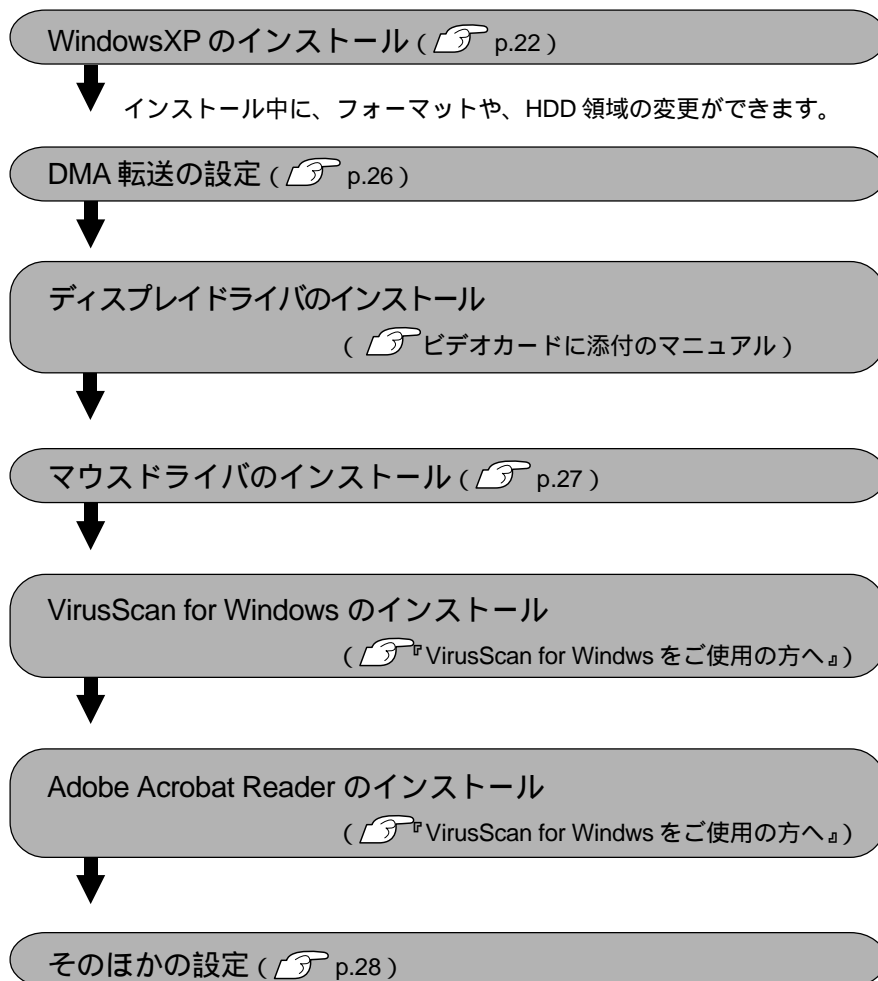
 p.7「バックアップディスクの作成」

そのほか必要なメディア

お使いのシステム構成や使用するアプリケーションソフトによって必要なメディアは異なります。

インストールの順番

ソフトウェアのインストールは、次の順番で行います。



サウンドドライバや、ネットワークドライバなど上記に表示されていないドライバは WindowsXP 標準ドライバを使用します。WindowsXP 標準ドライバはインストール時に自動的にインストールされるので、手動でのインストールは必要ありません。

インストール時の注意

インストールを始める前に、下記の点に注意してください。

WindowsXPのインストール

Windowsをインストールすると、その領域のデータはすべて消失します。必要なデータはあらかじめバックアップを取ってから、インストールを行ってください。

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールはBIOSの設定と、システム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。

HDD領域のサイズ

購入時のHDDは、すべての領域をNTFSファイルシステムで作成し、Windowsをインストールしてあります。

HDD領域の変更はWindowsXPのインストール中に行うことができます。

ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。

A ドライブ:FDD

C ドライブ:HDD(基本MS-DOS領域)

D ドライブ:CD-ROMドライブ

CD-ROMドライブのドライブ名は、HDD領域の数によって異なります。

入力文字

インストール手順中の入力文字の表記は、すべて大文字で記載してありますが、入力する際は、大文字・小文字のどちらで入力してもかまいません。

WindowsXP CD-ROMを要求されたら

ドライブ類のインストール時に「WindowsXP CD-ROM」を要求されることがあります。その場合は、「リカバリCD Disc1」をセットしてください。

CD-ROMドライブ2台装着時

本機に、IDE 仕様のCD-ROM ドライブなどを2 台装着している場合、WindowsXP のインストールは、必ずマスタ設定されたドライブから行ってください。スレーブ設定されたドライブからは、インストールすることができません。

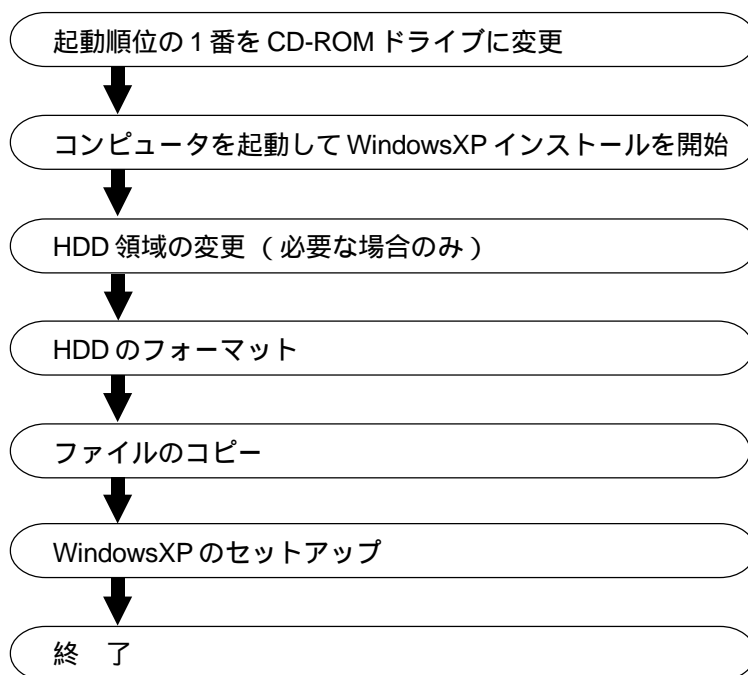
メーカー情報

WindowsXP を再インストールすると、「コントロールパネル」-「システムのプロパティ」に表示されているメーカーロゴとサポート情報は消去されますので、あらかじめご了承ください。


WindowsXPのインストール

インストールの流れ

Windows XPインストールの主な流れは次のとおりです。



WindowsXPのインストール

- 1 BIOS Setup ユーティリティを起動して、CD-ROM の起動順位を 1 番に変更します。
 - ❶ コンピュータの電源を入れて、**[Delete]** を押し、「BIOS Setup ユーティリティ」を起動します。
 『ユーザズマニュアル』 - p.95「BIOS Setup ユーティリティの起動」
 - ❷ メニュー画面が表示されたら、**[→]** を数回押して、「Boot メニュー画面」を表示します。
 - ❸ 「ATAPI CD-ROM」を選択して、**[+]** を数回押して「ATAPI CD-ROM」を一番上に移動します。
- 2 「リカバリCD Disc1」をCD-ROMドライブにセットします。
- 3 BIOS Setupユーティリティを終了します。
 - ❶ **[→]** を押して、「Exit」メニューに移動し、「Exit Saving Changes」が選択されている状態で **[←]** を押します。
 - ❷ 「Setup Confirmation」画面が表示されたら、「Yes」が選択されている状態で **[←]** を押します。
- 4 起動時に「Press any key to boot from CD.」と表示されたら、どれかキーを押します。


一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindows が起動してしまいます。
- 5 「次の一覧にはこのコンピュータ上の既存のパーティションと未使用の領域が表示されています。…」と表示されます。

通常は「C:」を選択して、**[↵]** を押します。






< HDD領域を変更する場合 >

HDD領域を変更する場合は **[D]** (削除) を押して、下記の手順❶～❹を行います。

 - ❶ 「削除しようとしたパーティションは…」と表示されたら、**[↵]** を押します。
 - ❷ 「MBディスク × × から次のパーティションを削除します。…」と表示されたら **[L]** を押します。

- ③ 「次の一覧にはこのコンピュータ上の…」と表示されたら、 (パーティションの作成)を押します。
- ④ 「MBディスク××に新しいパーティションを作成します。」と表示されたら、「作成するパーティションのサイズ」に任意の数値を入力して、 をクリックします。
- ⑤ 「次の一覧にはコンピュータ上の…」と表示されたら、「C: パーティション1(未フォーマット)」を選択して をクリックします。
- 「未設定領域」はインストール終了後「管理ツール」でフォーマットを行ってください。( p.30)
- ⑥ 「選択されたパーティションはフォーマットされていません。」と表示されたら、「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択して を押します。
- 手順9に移ります。
- 6 「別のオペレーティングシステムのあるパーティションに…」と表示されたら、 を押します。
- 7 「…にWindowsXPをインストールします。」と表示されたら、「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択し、 を押します。
- 「現在のファイルシステムをそのまま使用する」を選択すると、上書きインストールになります。
- 8 「警告:このドライブをフォーマットすると…」と表示されたら、 を押します。
- 9 フォーマットと、ファイルのコピーが行われます。終了すると、自動的にWindows が再起動します。
- 10 「WindowsXP ライセンス契約」が表示されたら、契約内容に同意するか、しないかを設定します。
- 「同意しない」を選択するとWindowsXP のインストールが中止されます。
- 11 「WindowsXP セットアップ」画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行います。

ソフトウェアの個人用設定
ここでは「名前」を必ず入力してください

- コンピュータ名(WindowsXP Home Edition)または
コンピュータ名とAdministratorのパスワード
(WindowsXP Professional)
コンピュータ名とAdministrator のパスワードを入力します。
日付と時刻の設定
コンピュータ設置場所の日付と時刻の設定を行います。
ワークグループまたはドメイン名(WindowsXP Professionalのみ)
ネットワーク管理者の指示に従って必要事項を入力します。
- 12 再起動後に「ディスプレイの設定」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
- 13 「モニタの設定」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
- 14 「Microsoft Windowsへようこそ」と表示されたら、画面右下の をクリックします。
- 15 「インターネットに接続する方法を指定してください。」と表示されたら、画面右下にある (省略) をクリックします。
- 16 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません。」にチェックを付けて をクリックします。
- 17 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたら、ユーザー名を入力して をクリックします。
- 18 「設定が完了しました」と表示されたら、 をクリックします。
デスクトップ画面が表示されるとインストールは終了です。
- 19 Windowsを再起動して、BIOS SetupユーティリティでCD-ROM
ドライブの起動順位をもとに戻します。

DMA 転送の設定

IDE CD-ROMドライブへの転送処理速度を上げるために、次の設定を行います。CD-ROMドライブのほかにもATAPI IDE 機器を接続している場合は、同様の手順で設定を行ってください。なお、IDE HDD は自動的に設定されるので設定の必要はありません。

- 1 [スタート]-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
- 2 「システム」アイコンをクリックします。
- 3 「ハードウェア」タブ-[デバイスマネージャ]をクリックします。
- 4 「IDE ATA/ATAPI コントローラ」をダブルクリックします。
- 5 「セカンダリIDEチャンネル」をダブルクリックします。
- 6 「詳細設定」タブをクリックします。
- 7 「デバイス0」、「デバイス1」の「転送モード」から「DMA」を選択します。
ただし、「現在の転送モード」が「無効」と表示されている場合は、デバイスが接続されていないので設定を行う必要はありません。
- 8 [OK]をクリックします。
- 9 すべての画面を閉じ、[スタート]-[終了オプション]-[再起動]をクリックします。Windows が再起動すると、DMA 転送の設定は終了です。

ディスプレイドライバのインストール

ビデオカードに添付のディスプレイドライバをインストールします。
インストール方法は、ビデオカードに添付のマニュアルをご覧ください。

マウスドライバのインストール

マウスドライバのインストールは、次の手順で行います。

- 1 「マウスドライバCD」をCD-ROMドライブにセットします。正しくセットされると自動的にセットアップ画面が表示されます。

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、[スタート] - 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に次のとおり入力し、[OK]をクリックします。

D:¥ SETUP
- 2 「インストール先の選択」画面で [次へ] をクリックします。
- 3 「プログラムフォルダの選択」画面で [次へ] をクリックします。
- 4 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」にチェックが付いた状態で [完了] をクリックします。
- 5 Windowsが再起動すると「新しいホイールマウスがPS/2 ポート上で検出されました...」と表示されます。[はい] をクリックしてマウスの設定を行います。
これでマウスドライバのインストールは終了です。

Adobe Acrobat Readerと

VirusScan for Windowsのインストール

Adobe Acrobat Reader と VirusScan for Windows のインストールを行います。インストール方法は、添付の『VirusScan for Windows をご使用の前に』をご覧ください。

そのほかの設定

マニュアルディスクのインストール

バックアップFD作成ユーティリティで作成した、『ユーザーズマニュアル』のPDFファイルをインストールします。

- 1 「マニュアルディスク 1」をFDD にセットします。
- 2 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「名前」に次のとおり入力して[OK]をクリックします。
A:¥SETUP
- 4 以降は画面の指示に従います。
セットアップが終了するとデスクトップ上に「ユーザーズマニュアル」アイコンが表示されます。

ステップバイステップインタラクティブのインストール

WindowsXP の使い方の詳細がデスクトップ上でいつでも見られるように、「ステップバイステップインタラクティブ」をインストールします。

ステップバイステップインタラクティブのインストールは、次の手順で行います。

- 1 「リカバリCD Disc2」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「名前」に次のとおり入力して、[OK]をクリックします。
D:¥SBSI¥SETUP¥SETUP
- 4 「ようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 5 「製品ライセンス契約」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。
- 6 「Microsoftインタラクティブトレーニング」画面が表示されたら「名前」と「会社名」を入力して[次へ]をクリックします。

- 7 入力した「名前」と「会社名」の確認の画面が表示されます。入力した情報が正しければ、[はい]をクリックします。インストールが開始されます。
入力に間違いがあった場合は、[いいえ]をクリックして、手順 6 の画面で情報を入力し直してください。
- 8 「セットアップが完了しました……」と表示されたら、[完了]をクリックします。
- 9 再び[スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 10 「名前」に次のとおり入力して、[OK]をクリックします。
D:¥QFE¥Q307460.EXE

コマンドプロンプト画面が数秒間表示されて消えます。これで「ステップバイステップインタラクティブ」のインストールは終了です。

各種ドライバやソフトウェアのインストール

お使いになるシステム構成によって、ドライバやユーティリティ、アプリケーションなどのインストールが必要です。インストールは、バックアップFD作成ユーティリティで作成したFD や、あらかじめオプション類に添付されていたメディアを使用して行います。詳しくは、本機でお使いになるオプション類のマニュアルをご覧ください。



参考

必要なドライバやユーティリティは、お使いになるシステム構成によって異なります。たとえば、次のようなドライバやユーティリティが必要になります。

FAXモデムカードを使用する場合 : FAXモデムドライバ

MOドライブを使用する場合 : MOドライバ

ビデオ編集を行いたい場合 : DV Symphomovie (IEEE1394搭載モデルのみ)

未設定領域の設定

WindowsXP インストール時にHDD領域を分割した場合、Windows をインストールしなかった領域は未設定領域のままです。未設定領域を使用できるようにするため、領域設定とフォーマットを行います。

「Windows のヘルプ」もあわせてご覧ください。

- 1 [スタート]-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「管理ツール」-「コンピュータの管理」を選択します。
- 2 画面左側の「記憶領域」の下の「ディスクの管理」をクリックします。
- 3 「ディスク0」の「未割り当て」を右クリックし、表示されたメニューから「新しいパーティション」を選択します。
- 4 ウィザードが起動したら、画面の指示に従って設定を行います。
「パーティション種類の選択」画面で作成するパーティションの種類によって以降の作業が異なります。

プライマリパーティションを作成した場合

新しいドライブが割り当てられます。フォーマットが終了すると、領域が使用できるようになります。

拡張パーティションを作成した場合
 - ① 「空き領域」が作成されます。右クリックして、表示されたメニューから「新しい論理ドライブ」を選択します。
 - ② 再びウィザードが起動するので、画面の指示に従って設定を行います。
 - ③ 新しいドライブが割り当てられ、フォーマットが終了すると、領域が使用できるようになります。

本章では『ユーザーズマニュアル』 - 「こんなときは」と「付録」の章の読み替え部分を記載しています。

こんなときは

困ったときに 『ユーザーズマニュアル』p.144

「困ったときに」に記載されている対処方法を参照する場合は、Windows2000をWindows XPと読み替えてください。

付録

HDD領域の変更 『ユーザーズマニュアル』p.171

Windows XPではFDISKコマンドは添付されていないので、『ユーザーズマニュアル』に記載されている方法で、HDD領域の変更はできません。

HDD領域の変更は、次の方法で行います。

WindowsXPインストール中にHDD領域を分割する。



インストール終了後に「ディスクの管理」で未設定領域の設定を行なう。

詳しくはp.23「Windows XPの再インストール」とp.30「未設定領域の設定」をご覧ください。

